

# 燃料分析のご案内

石炭、固形化燃料、重油・油類、ごみ質、汚泥など…

燃料の品質管理、焼却施設の燃焼管理、代替燃料の検討において、燃料分析は重要視されています。当センターの燃料分析は、JIS 規格に基づいた性状試験の他、お客様が指定される条件での試験も承っております。まずはお気軽にご相談ください！

## 試験・分析項目の一例

種別	項目	主な規格
石炭	水分、灰分、揮発分、固定炭素、水素、窒素、酸素、硫黄分、湿分、総発熱量、真発熱量、  【注】総発熱量は高位発熱量、真発熱量は低位発熱量ともいいます。	・ 石炭類及びコークス類- - サンプルング及び試料調製方法 JIS M 8811 - 工業分析方法 JIS M 8812 - 元素分析方法 JIS M 8813 - ボンプ熱量計による総発熱量の測定方法及び真発熱量の計算方法 JIS M 8814 - 全水銀の定量方法 JIS M 8821
バイオマス 固形化燃料 (木質ペレット、 木屑チップ)	直径、長さ、かさ密度、水分、灰分、微粉率、機械的耐久性、全塩素分、硫黄分、窒素、銅、クロム、ヒ素、カドミウム、水銀、鉛、ニッケル、亜鉛、鉄、アルミニウム、総発熱量、真発熱量、*灰溶融挙動	・ ISO 17225-1:2014、ISO 17225-2:2014 及び国内規格 ※灰溶融挙動については外部委託
廃棄物 固形化燃料 (RPF, RDF)	総発熱量、真発熱量、水分、灰分、金属含有量、全塩素分、硫黄分、炭素、水素、窒素、かさ密度、粉化度	・ 廃棄物固形化燃料 - 試験方法通則 JIS Z 7302-1 - 発熱量試験方法 JIS Z 7302-2 - 水分試験方法 JIS Z 7302-3 - 灰分試験方法 JIS Z 7302-4 - 金属含有量試験方法 JIS Z 7302-5 - 全塩素分試験方法 JIS Z 7302-6 - 硫黄分試験方法 JIS Z 7302-7 - 元素分析試験方法 JIS Z 7302-8 - かさ密度試験方法 JIS Z 7302-9 - 粉化度試験方法 JIS Z 7302-10
重油・油類	硫黄分、総発熱量、真発熱量	・ 原油及び石油製品 - 硫黄分試験方法 JIS K 2541 - 発熱量試験方法及び計算による推定方法 JIS K 2279
ごみ質	炭素、水素、窒素、酸素、硫黄分、塩素分、水分、灰分、可燃分、真発熱量、種類組成分析(分別)	・ 環整 95 号 別紙 2 の I ごみ質の分析方法 (環整 95 号別紙 2 の II 及び III、別紙 3 の I 及び II、別紙 4 の I におけるごみ質等検査及び II における水質検査も対応可能です)
汚泥類	総発熱量、全水分、灰分、全硫黄、窒素、炭素、水素、全塩素分、金属	・ 下水汚泥固形燃料 JIS Z 7312
その他	粒度分布、管状炉を用いた燃焼試験	

## 分析機器の一例



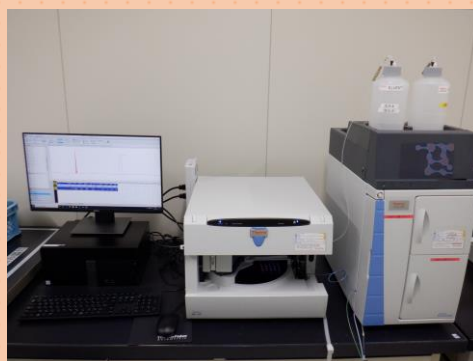
**ウィレー粉砕機・振動ミル粉砕機**  
試料を細かく粉砕し、均一性の高い試料にして分析をします。



**熱研式自動ポンベ熱量計**  
(株島津製作所製 CA-4AJ)



**燃焼法元素分析装置**  
(株住化分析センター製 SUMIGAPH NCH-22F)



**イオンクロマトグラフ**  
日本ダイオネクス(株)製 ICS-1500

**長年の経験を生かし  
幅広い分析を行っています**

目的に合った試験方法や試験条件の  
ご確認、ご検討もお気軽に御相談下さい。



ごみ質の試料採取の様子



一般財団法人 **上越環境科学センター**

〒942-0063 新潟県上越市下門前 1666 番地

TEL : 025-543-7664

FAX : 025-543-7882

E-mail : (総合) info@jo-kan.or.jp

URL : <https://www.jo-kan.or.jp>

お問合せ窓口：業務課 又は 検査二課